
東京ラヂエーター製造株式会社

中期経営計画

TRS Vision-2025

2021年度～2025年度

2021年5月

証券コード：7235

1. 事業・ミッション
2. 当社を取り巻く環境変化と事業機会
3. 中期経営計画「TRS Vision-2025」
4. 5つの戦略
5. 資本政策
6. ESG・SDGs

1. 事業・ミッション

東京ラヂエーター製造 = TRS (TOKYO RADIATOR MFG (Seizo) . CO., LTD.)

80年以上の歴史を誇るトラックおよび産業建設機械用熱交換器の専門メーカー

【経営理念】

人間尊重を基本に、新たな価値を創造し、信頼される企業として
地球に優しい社会造りに貢献する

【コーポレートビジョン】

世界最高の製品を提供し、全てのステークホルダーと共に発展し続ける企業となる

東京ラヂエーター製造株式会社 (東証第2部 : 証券コード : 7235)

設立	1938年10月15日 (創業83年) *現在の東京都港区芝浦にて設立
資本金	13億1760万円 (2021年3月期末)
売上高	259億9600万円 (2021年3月期)
代表者名	代表取締役社長 落合久男
従業員数	886名 (連結) (2021年3月期末)
所在地	神奈川県藤沢市遠藤2002番地1
海外拠点	中国・インドネシア・タイ



事業内容

1938年の設立以来、80年以上の歴史の中で、
トラックおよび産業建設機械用熱交換器（ラジエーター）の専門メーカーとして、
数多くの実績とお客様の信頼を獲得

ラジエーター：液体や気体の熱を放熱する装置 = 熱交換器の一つ



【当社の製品について】

<http://www.tokyo-radiator.co.jp/products/products/>

2. 当社を取り巻く環境変化と事業機会

当社の主な事業領域 = 自動車・産業機械・農機市場

100年に一度の変革期にある自動車業界（CASE等）

カーボンニュートラルへの対応 モビリティ社会の変化

**コア技術 = 「熱交換」技術で
既存製品の進化および新たな環境対応製品の開発**

新たな企業価値を創造し、持続的成長を実現

当社の強みをNEVでも発揮

NEV : New Energy Vehicles

「熱交換」技術に特化した
専門メーカーとしての
技術開発力

+

80年を超える歴史で
培われた
お客様からの
信頼と実績の積み重ね

当社は「熱交換」技術による熱交換機器の専門メーカー

1938年の設立以来、主にトラック・産建機向けの熱交換機器を専門に製造

CASEに代表されるモビリティ社会における大きな変革の波が到来

NEVにおいても「熱交換」技術は必要

大きな環境変化は当社コア技術「熱交換」技術を活かせるビジネスチャンス

中期経営計画でNEV向け製品開発と量産開始をコミット

3. 中期経営計画「TRS Vision-2025」

中期経営計画「TRS Vision-2025」

背景と目的

- ・カーボンニュートラルを踏まえた自動車市場の大きな変化（CASE 等）
- ・創業80年以上の歴史で初といえる大きな事業環境変化へ迅速・的確に対応

ポイント

2030年あるべき姿
「モノづくり力で業界トップレベル」



2025年の中計ビジョンを策定

中計ビジョン：「変わる」「応える」「高める」

+

中計ビジョンを実現する為の「5つの戦略」

「あるべき姿」 2030年 モノづくり力で業界トップレベル

TRSは 変わる・応える・高める

1.製品戦略

2.グローバル戦略

3.成長戦略

事業戦略

4.スマートファクトリー戦略

生産基盤戦略

5.人財戦略

組織基盤戦略

TRSは 変わる・応える・高める

「あるべき姿」へ向けてのビジョン

変わる：2030年「モノづくり力で業界トップレベル」を目指し、自己変革に積極的に取り組んでいる

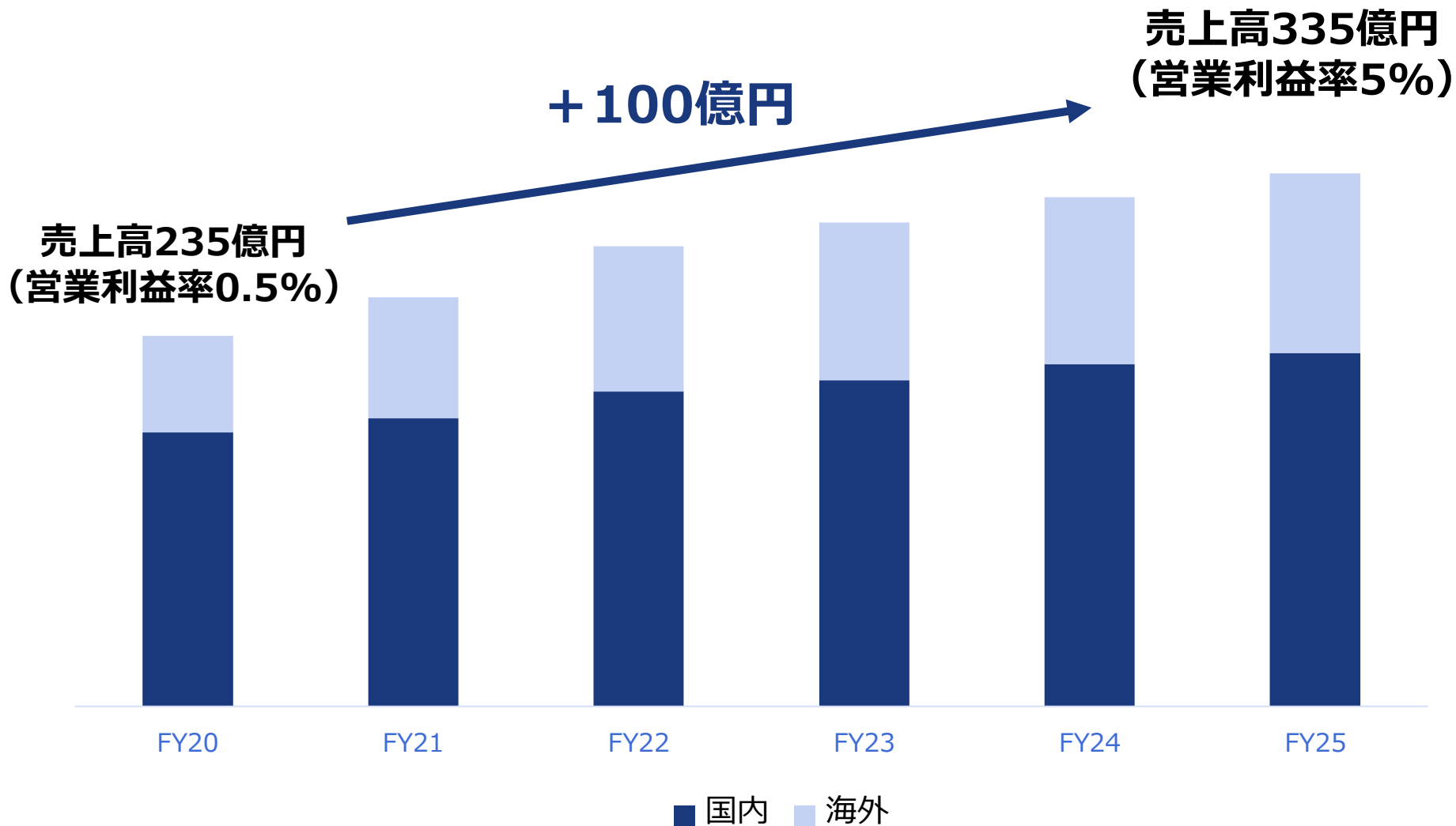
応える：時代と顧客の期待に応え、パートナーとして常に選ばれる企業である

高める：モノづくり力を高め、収益性の高い企業である

『TRS Vision-2025』ビジョンと戦略の関係

ビジョン 戦略	変わる モノづくり力で業界 トップレベルに向けて 変革に取り組んでいる	応える 時代と顧客の期待に 応えパートナーとして 常に選ばれる	高める モノづくり力を高め 収益性の高い企業で ある
製品戦略	現行製品の競争力を高める		
グローバル戦略	海外事業を高める		
成長戦略	新製品で時代の要請に応える		
スマートファクトリー 戦略	モノづくり力を高める		
人財戦略	エンゲージメントを高める		

成長投資を一貫して行い、企業価値を持続的に向上させる



* 売上高：企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」適用後売上高

4. 5つの戦略

『TRS Vision-2025』 5つの戦略

<h2>1.製品戦略</h2> <p>競争力を高める</p>	<h2>2.グローバル戦略</h2> <p>海外事業を高める</p>	<h2>3.成長戦略</h2> <p>新製品で時代に応える</p>
<ul style="list-style-type: none">● 新型製品投入 FY22～● 製品性能向上● コスト改善	<ul style="list-style-type: none">● 新市場アプローチ開始 FY22● グローバルBCP確立 FY22● 海外売上比率 30%以上 FY25	<ul style="list-style-type: none">● 新規製品 試作品納入完了 FY23 量産品納入開始 FY25● 製品ポートフォリオ変革 FY25～
<h2>4.スマートファクトリー戦略</h2> <p>モノづくり力を高める</p>		
<ul style="list-style-type: none">● スマートLogistics : 情報とモノの整流化・同期化● スマートTechnology : IOT技術革新● スマートGenba : ダントツ現場力		
<h2>5.人財戦略</h2> <p>エンゲージメントを高める</p>		
<ul style="list-style-type: none">● 中計ビジョンを実現する人財の育成● 従業員エンゲージメント向上● 行動指針の進化		

新型製品開発



【現行製品の更なる進化】

- 製品軸（プロジェクトダイレクター）体制に基づく製品戦略の策定と実行
- 海外拠点および本社機能軸と連携した、製品競争力向上と拡販の実行

海外事業拡大

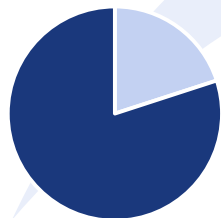
海外売上比率30%以上

海外拠点稼働率85%以上

新市場アプローチ開始

グローバルBCP確立

2020年度



■ 海外 ■ 国内

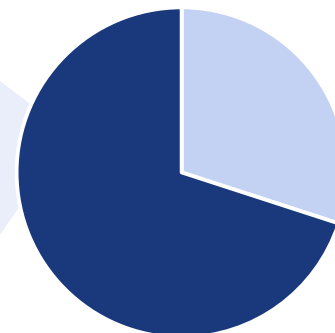
FY23



FY25



2025年度



■ 海外 ■ 国内



【海外事業の進化】

- 海外拠点の生産能力を最大限活用し、現行マーケットの競争力を向上
- 新たな市場へ参入



次世代製品事業化

製品ポートフォリオ変革

量産品納入

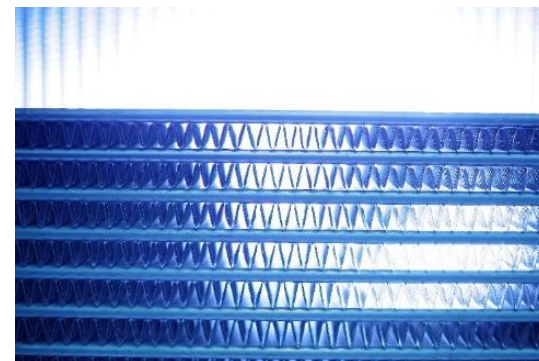
試作品納入

顧客・他社との連携

戦略立案・基礎開発

FY23

FY25



【新たな時代のモビリティに対する新製品開発】

- カーボンニュートラル社会の実現に向けて、NEV用熱交換器製品を開発し、次世代事業の柱へ

魅せられる工場



ゼロライン実現

革新工法ラインの具現化

倉庫管理システム導入

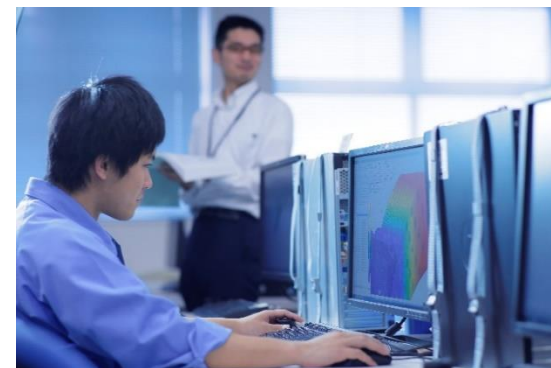
IOT導入による見える化

人に頼らない工程保証

綺麗で見通し良い工場

FY23

FY25



【災害・故障・不良・在庫・無駄 ゼロラインの構築】

- スマートLogistics (情報とモノの整流化・同期化)
- スマートTechnology (技術革新)
- スマートGenba (ダントツ現場力)

でモノづくり力を高める

高いエンゲージメント



エンゲージメント向上

行動指針の進化

エンゲージメント向上施策

新エンゲージメントサーベイ開始

FY23

FY25

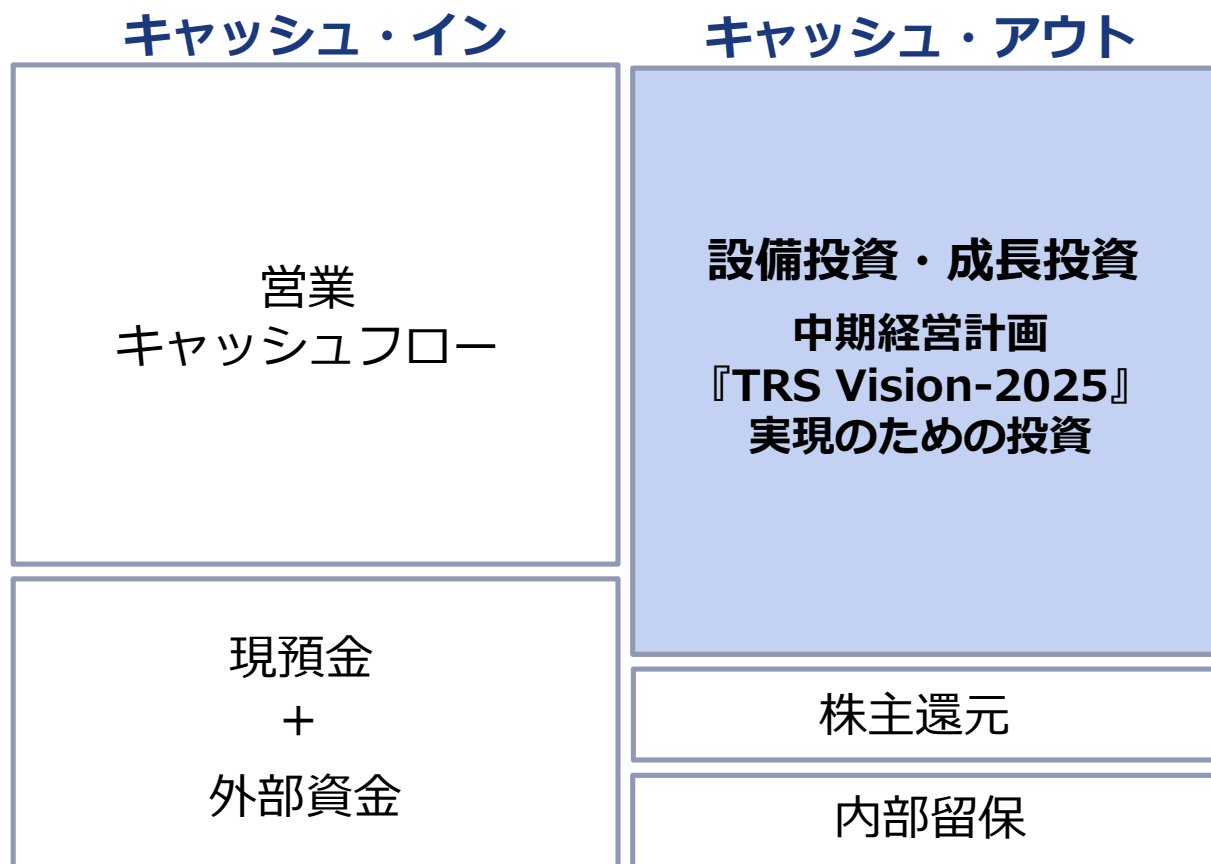


【エンゲージメント向上】

- 中計ビジョンを全てのグループ社員と共有し従業員エンゲージメントを高めながら中計ビジョンを達成

5. 資本政策

中期経営計画『TRS Vision-2025』 キャッシュ配分イメージ



中計戦略実現のために将来投資を実施していく

6. ESG・SDGs

持続可能な社会の実現

環境 (E) 25年に向けた 目標値設定と具体的活動



- 2050年カーボンニュートラル
 - ・ 生産に関わるCO2排出削減
FY18比 FY25▲20%
 - ・ クリーンエネルギー採用
 - ・ 環境製品の製造販売

社会 (S) 人材多様性や 地域・社会に関する活動



【人材多様性】

- ダイバーシティ向上
 - ワークライフバランス向上
- #### 【地域・社会】
- 重大災害発生件数：0件維持
 - 重大環境事故発生件数：0件維持
 - サプライ・チェーン・マネジメント
 - 品質向上
 - 健康経営優良法人 認定維持

企業統治 (G) コンプライアンス に関する取組み



- 適時情報開示
- コンプライアンス：違反件数0件維持
- 情報セキュリティ：漏洩件数0件維持

「あるべき姿」 2030年 モノづくり力で業界トップレベル

TRSは 変わる・応える・高める

1.製品戦略

2.グローバル戦略

3.成長戦略

事業戦略

4.スマートファクトリー戦略

生産基盤戦略

5.人財戦略

組織基盤戦略

企業価値向上と持続的成長へ

【見通し他に関する注意事項】

本資料に記載されている当期ならびに将来に対する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。

実際の業績は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なる事があり得ます。

そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行・規制法律その他の変更が含まれます。

お問い合わせ

東京ラヂエーター製造 株式会社
経営企画管理室 事業企画管理課

TEL : 0466-87-1183

FAX : 0466-88-1404

Mail : trs@tokyo-radiator.co.jp